

ケニア初のペットボトル再資源化の仕組みづくりを目指して ～(株)トベ商事と委託契約を締結～

国際協力機構（JICA）は、株式会社トベ商事（東京都北区、戸部智史 代表取締役）との間で、「ケニア国使用済みペットボトル再資源化のための普及・実証・ビジネス化事業」にかかる業務委託契約を締結しました。契約期間は2024年5月までの約3年間となります。

世界的な関心を集める廃プラチック対策。日本ではペットボトルのリサイクル率が約85%に達していますが、ケニアでは年間4000トン生産されるペットボトルの9割が廃棄されています。ケニア環境省は国家廃棄物管理法を制定し、使用済みペットボトルの再資源化を推進しているものの、再資源化された廃PET資源の品質が悪いため国内での用途がなく、また海外への輸出も国際的輸出規制の影響により難しくなっているため、再資源化しても活用先がない状況となっています。

トベ商事社の「使用済みPETフレークの洗浄・再資源化システム」は、使用済みペットボトルから加工されたPETフレークの微細な砂や汚れを、高い洗浄能力で取り除き、製品原料となる付加価値の高い再生PETペレットを生産するシステムです。提案製品の導入を通じて、ケニア国内で初めて使用済ペットボトルを再資源化する仕組みが実現できれば、新たなサプライチェーンが構築され、使用済ペットボトルの廃棄量減容やリサイクル率向上への貢献が期待されます。



図：導入機材（PET異物除去・造粒装置）

本事業では、JICAが長年協力を行ってきたジョモケニヤッタ農工大学と連携し、大学構内に機材を設置し、再生PETペレットを試作する活動を実施します。現地からも高い期待を寄せられている本事業を通じてケニアでの技術の普及やビジネス展開に向けた検討を行います。

*普及・実証・ビジネス化事業は、中小企業等からの提案に基づき、途上国の開発課題の解決に有効に活用できるポテンシャルを有する製品・技術等の現地適合性を高めるための実証活動の実施および普及方法を検討することを目的とした事業です。

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 民間連携事業部 企業連携第一課（担当：齋藤）
TEL 03-5226-9283 e-mail: ostp1@jica.go.jp